



建議書委員会報告

2014年9月10日(水)

第29回二水会



第12回 建議書委員会開催

- 日時:9月2日(火) 15:00~16:30
- 場所:ジェトロ・バンガロール事務所会議室
- 議題:
 - (1)第6回ダイアログ・モニタリング委員会フォローアップ会議後の展開
 - (2) TMEICプロジェクト支援委員会設立・開催
 - (3) ムカルジー首席次官(ダイアログ・モニタリング委員会座長)訪日
 - (4)第7回ダイアログ・モニタリング委員会の日程
- 出席者:山本、久保木、道北、田代、下村、ディーパク



99年のリース制度を導入

- カルナータカ州政府は、2014年8月7日付け、GO（Government Order 政府通達）で、KIADBの工業団地で、用地のリース期間を現在の30年から99年に変更すると発表。新リースシステムは、州政府が2013年8月23日以降、認可した全ての投資案件に適用される。
- 工業用地の利用を公正で透明なものにするため、昨年12月から、土地所有制度を廃止し、30年リースに変更していた。しかし、30年リースは金融機関、産業界から、短すぎると不満が高まった。
- グジャラート、マハラシュトラ、タミル・ナドゥ州などと同様に、99年のリース制度に変更。



99年のリース制度を導入

➤主な改正点

- ① 工業用地の割当て後、180日以内に土地価格の100%の支払いが必要。なお、土地を割当てには、土地価格の30%を前払いする必要がある。
- ② 年間リース代（含むメンテナンス代）として1000ルピー/エーカーが課される。
- ③ 土地の割当て後、投資額25億ルピー未満のプロジェクトの場合は3年間、25億ルピー以上のプロジェクトの場合は5年以内に投資を完了することが義務付けられる。所定の期間内にプロジェクトが実現しない場合、投資家が適切な理由を示せなければ、州政府は土地割当ての取消しをすることができる。

なお、土地の割当て後、9カ月以内にプロジェクトを開始する必要がある。初回の期限延長に対して州政府は土地代の2%を徴収、2回目の期限延長に対しては土地代の5%を徴収する権限を有する。それ以上の延長は認められない。



99年のリース制度を導入

➤主な改正点（続き）

- ④ 割当てられた用地の最低50%を使用する義務がある。
- ⑤ 必要に応じ、土地の転貸(Sub lease)が認められる。但し、転貸はプロジェクト関連企業に限られる。
- ⑥ プロジェクトが10年間稼働している場合に限り、現借主よりリース権の移転が可能。但し、州政府と現借主は リース権譲渡時の利益を均等にシェアする。
- ⑦ 現借主の都合で、工業用地を州政府に返却する場合は、土地割当て費用の15%（年率）がペナルティーとして差し引かれる。

➤土地監査委員会(Land Audit Committee)について

- ◆ 土地監査委員会（Land Audit Committee）の委員長は産業コミッショナーから工業次官へ変更。
- ◆ 同委員会は、個別投資案件に対する土地の必要性を評価し、工業用地の合理的な使用を確保する役割を果たす。個別投資案件の基本認可を取得する前に、土地監査委員会の認可が必要。



4. ナルサプラ工業団地に関する問題の改善

(1) KIADBは最速で、道路のコネクティティを完成させる。

工業団地入り口からのアクセス道路は、ほぼ完成。工事はまだ続いている。現地を訪問した、カルナタカ州政府のプラバー工業担当副首席次官の指示で、街灯がついた。

(2) BESCOは66/11KVA変電所を作動させ、工業団地への滞りない電力供給を保証する。

11KVAの電力供給は開始された。追加の電線の架設工事が始まった。完成までのタイムスケジュールは未入手だが、BESCOの動きはよい。

(3) 警察省はナルサプラ工業団地に交番を設置する。さらには、できるだけ早い時期に、警察署の設置も検討する。

警備用の小屋は設置されたが、まだ人は派遣されていない。州政府側は提案したHMSI側が派遣する警備員に対して、警察署員としてのステータスを与えると提案。現状チェックの必要あり。



4. ナルサプラ工業団地に関する問題の改善

(4) ナルサプラ工業団地内の工場は同地にESI診療所の設立を検討する。州政府はESI診療所のスタッフ及び運営費用をそれぞれの所轄官庁を通じて供給する。

日本側は、診療所の建設についても、入居企業が費用負担できないと回答。州政府としては、ESI側（インド政府）が、建設までできるか、打診をすると回答。現状につき要フォロー。

(5) KIADBは、40MLD(日量百万リットル)の第3次処理水設備計画を策定し、且つ完成時期を明示する。

プロジェクト:カドゥバサナハリ湖からホスコテ処理設備まで導水し、マルール(23km)、ヴェームガル(18km)、ナラスプラ(14km)の3工業団地向けにパイプを敷設する。工事発注済。工期は15～18か月を見込む。現状につき要フォロー。



4. ナルサプラ工業団地に関する問題の改善

(6) 州政府は、雇用省、技術開発公社を通じ、熟練工の供給をサポートする。HMSI他日系企業関係者は、ドイツの協力で設立した職業訓練校K GTTI(Karnataka German Technical Training Institute)を視察願いたい。

KGTTIの視察を希望する向きは、雇用コミッショナー(Commissioner of Employment, Mr. Naveen Raj Singh)に申し入れる。日本側よりコラール地区にITIの新設を要請したのに対し、州政府側はKGTTIの分校建設を打診すると回答。ナルサプラ近隣エリアの溶接工不足に対応するため、ITI級のトレーニングセンターを州政府に申請中。

(7) KIADBは団地内に、トラック・ヤード用の土地を確保する。

KIADBはトラック・ヤード用の土地15エーカーを確保したと回答。間もなく整備を開始する。KIADBより土地取得の連絡があり、具体的な整備依頼を行った。

(8) KSRTCはコラール、ホスコテから夜行に通勤する労働者のためのバスの運行サービスを、利用者数の査定後に導入する。

8月からフル生産となったのを受け、KSRTCも徐々にバスの増便対応を開始した。



4. ナルサプラ工業団地に関する問題の改善

(9)新規要請項目として、ナルサプル工業団地内に消防署の建設を提案。州政府として対応を検討する。

現状は、コラール市とマルール市にしか、消防署はなく、ナルサプル工業団地で火事が発生すると、一番近いコラールからでも、距離は24kmあり、消防車の到着までに45分かかるとされている。 申請書を提出する。



7. バンガロール市内の交通渋滞緩和

日本側は、バンガロール市内で慢性的な交通渋滞が見られる道路の、混雑解消の対応を要請した。混雑する道路の例として以下を挙げた。

- K.R.Puram – Hanging Bridge一帯
- White Field, ITPL Main Road
- Nrupathunga Road, K.R. Circle
- Bannerghatta Road, Dairy Circle一帯
- Indira Nagar 100 ft Road
- Electronic City Toll Gate Area
- Outer Ring Road/Old Airport Road – Marathahalli crossing

州政府は上記の道路の混雑緩和を、(JICAが提案している)KIPPルート(Karnataka Investment Promotion Program)を通じて、解決することを検討する。

JICAのITS調査の報告をベースに州政府へのアドバイスを行うことを検討する。



TMEICプロジェクト支援委員会 (Project Facilitation Committee)

■ 設立の背景:

バンガロールに進出するTMEIC(東芝三菱電機産業システム株式会社)の、今後の工場建設について、プロジェクトの遅れを挽回し、円滑な進展を目指すため、カルナタカ州マヘシュワル・ラオ産業コミッショナーを座長とし、主要認可機関をメンバーとするプロジェクト支援委員会(Project Facilitation Committee)を、ダイアログ・モニタリング委員会の下部組織(Sub-Committee)として設置した。

これまでに、8月14日、9月1日と2回開催、今後定期的に行っていく。

ジェトロが積極的に支援を行ってきた案件。



TMEICプロジェクト支援委員会 (Project Facilitation Committee)

- プロジェクトの概要：
 - ❖ 製造：産業用モーター
 - ❖ 総投資額：約25億ルピー
 - ❖ 立地：バサント・ナラサプラ工業団地(Tumkur) 15エーカー
 - ❖ 工場の完成目標：2015年12月
- 波及効果：

ラオ産業コミッショナーは、本件に引き続き、進出を計画する日系製造業のプロジェクトを支援する考えを表明。



ムカルジー首席次官(ダイヤログ・モニタリング委員会座長)の訪日

- 期間:9月13日～21日
- 目的:日系企業のカルナタカ州への誘致
- 訪問地:東京、名古屋、津(三重)、京都、大阪
- ジェトロ主催「インド カルナタカ州投資セミナー」(東京)
 - (1) 日時: 9月17日(水)16:00 – 18:00
 - (2) 会場:ANAインターコンチネンタルホテル(六本木)
 - (3) 講演者:コウシク・ムカルジー州首席次官、マヘシュワル・ラオ産業コミッショナー、東芝三菱電機産業システム 多々良取締役
- ジェトロ主催「インド カルナタカ州投資セミナー」(大阪)
 - (1) 日時:9月19日(金)16:00 – 18:00
 - (2) 会場:ジェトロ大阪 大会議室
 - (3) 講演者:コウシク・ムカルジー州首席次官、マヘシュワル ラオ産業コミッショナー、(株)ツジカワ 辻川社長

セミナーの申込み:ジェトロ・バンガロール(担当:久保木)(先着30名)無料



次回第7回ダイヤログ・モニタリング委員会

2014年11月後半を、日本側案として、申し入れる



建議事項を、建議書委員にお寄せ下さい。

ご清聴ありがとうございました